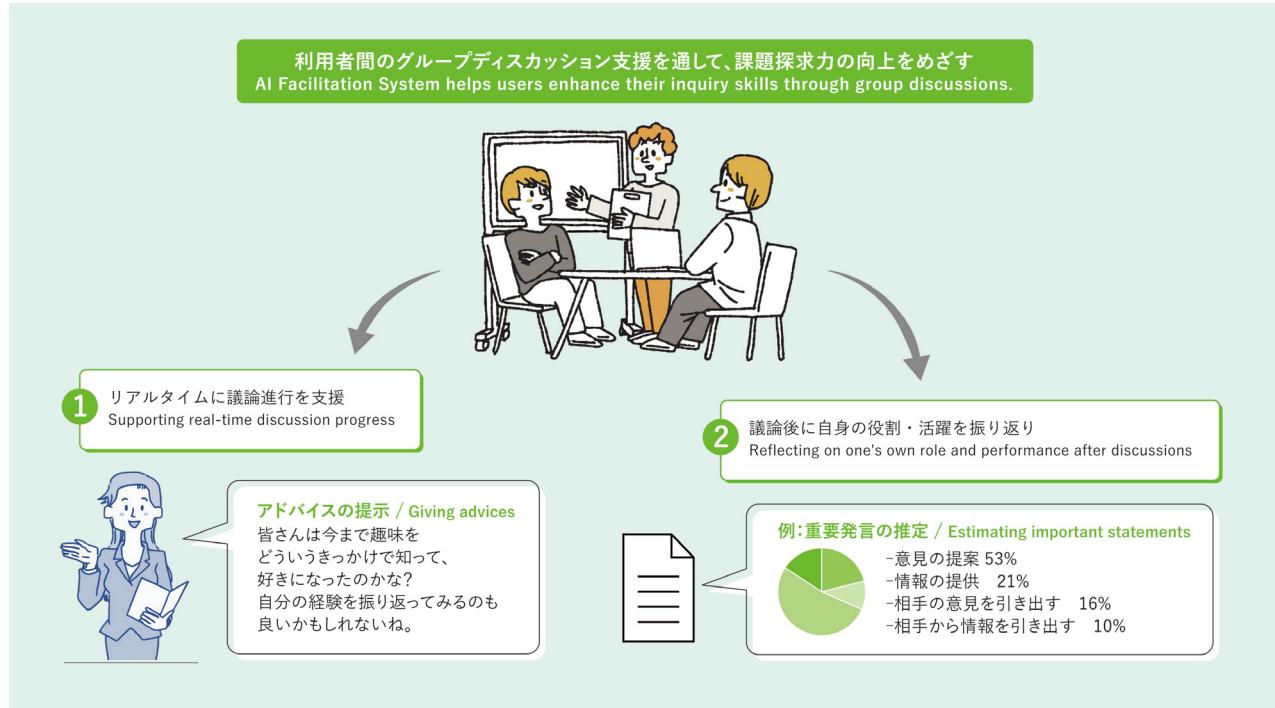


議論状況に合わせた進行支援、および個人の役割・貢献度を可視化します 教育向けAIファシリテーション技術

背景 – 技術課題

教育現場では授業でのグループディスカッションを通じた学生の課題探求力の向上が推奨されていますが、生成AIの登場によりAIがアイディアを出してしまったり、学生の考える機会を奪ってしまう可能性があります。また、グループ活動における自身の役割や活躍を振り返る仕組みがありませんでした。



研究目標 – 成果

- 議論状況の推定結果をもとに最適なアドバイスを提示し、利用者の考える機会を創出します。
- 個人の議論に対する活躍を可視化し、自身の活躍を振り返る機会を提供します。

技術ポイント

01 要素技術

議論の進行状況に合わせてアドバイスを出し分けする機能や、グループにおける個人の発言の役割を可視化できる機能など、複数の独自アルゴリズムを実装

02 市中技術差異点

- 大学での実証結果より、他社が提供中のファシリテーションサービスと比較して同等以上の精度・満足度を獲得
- 複数のトップカンファレンスで採択された基礎技術も活用予定

利用シーン 教育

R&Dフェーズ 開発

技術確立予定期 Fy26

ビジネス化予定期 Fy26-27

【出展企業】
株式会社NTTドコモ R&Dイノベーション本部

【共同出展社/社外連携先】
神戸市、浦添市

【問い合わせ先】
クロステック開発部 複合価値創出担当

【関連Link】

—